

品川区子ども読書活動推進計画(素案)に対する区民意見公募(パブリックコメント)の  
実施結果と区の考え方について

資 料 No. 3-2  
品川区子ども読書活動推進計画策定委員  
令和 2 年 2 月 18 日

通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
1	<p>自分自身の学生時代を思い返してみると、小学校4年生までは区立図書館のお話会に参加していて、スタンプためてプレゼントをもらっていました。6年生では区立図書館で本を借りて沢山読んでいました。ズッコケ三人組を50冊読み、巻末のクイズに応募してプレゼントをもらいました。中学生になると、文庫型の本が推奨され挿絵も少なくなり、友達とプリクラを撮るのに夢中になり本とは距離が出来てしまいました。【携帯はまだ一部の人しか持っていない時代】一方で中3の時に朝の10分間読書が始まり、強制的に読むことになりました。あんなにもズッコケ三人組を読んでいて中々読書に興味を持てず、当時話題だった冬ソナを読んだのを覚えています。私はその後も本を大して読まず大学生になり、結果的に文学部に所属。国語教師になれる学部だったこともあり周りが本の虫だらけで、本の貸し借りや感想を話している友人ばかりで慌てて読みました。そして現在は、自分の子供とお話会に参加し、紹介して頂いた絵本や図書館の冊子を参考に沢山絵本を借りて毎日読み聞かせしています。素案にある典型的なティーンズだったようです。ティーンズの読書離れは携帯電話の普及等の影響はもちろんあるかと思いますが、私の場合はプリクラだったり、交換日記を書いたり、部活に時間を割いていたのだと思います。きっと今だったらタピオカでしょうか。</p> <p>そんな私の意見としましては、ティーンズに対しては強制力が必要かと思えます。私が冬ソナを読んでいた時、本をほとんど読まなかった男子が本好きになり、授業中にも続きを読んでいたし、冬ソナの上を私が貸して、下巻はその男子が買って貸してくれました。10分間読書を通じて全員が本好きになることはないですが、本への関心が高まる人もいます。また 中学生になると一気に本のハードルが上がるのも本離れの原因かと思えます。区立図書館については、私の小学生の頃は職員の女性が顔と名前を覚えてくださっていたのが嬉しかったのと、プレゼントはバーバパパのティッシュとハンカチが入るケースをもらって大切にしていました。推察の中にあつた本を読み終えた時の達成感自信になるというのは納得です。ズッコケ三人組をその当時全て読めたのは私の中でも自信になりました。自信をつけるという意味でテレビなどでも特集されていた読書通帳などを取り入れて頂けると、目に見える成果となってよいのではないのでしょうか？子供に本を読むように勧めやすくはなると思えます。</p>	1	<p>自分の学生時代を思い返してみると、推察の中にあつた本を読み終えた時の達成感自信になるというのは納得できる。自信をつけるという意味でテレビなどでも特集されていた読書通帳などを取り入れて頂けると、目に見える成果となってよい。</p>	<p>読書通帳の導入に向けては、記帳方法を検討する必要がありますが、今後他自治体図書館から情報を収集するなどして検討してまいります。</p>
2	<p>八潮図書館に行った際に、子供(1歳)が普通の声で話していただけなのに、受付の方に「静かにしてください(シー!)」と言われました。騒いだり走ったりしたわけではなく、普通の親子の会話です。確かに静かな空間に、子供の声は通るとは思うのですが、1度ではなく2度も言われてしまい、子供に「早く帰ろう」と行ってそそくさと後にしました。このような雰囲気図書館では、乳幼児を連れて本を見に行こうと思う心すらなくなってしまいます。読書活動推進という活動以前の問題です。図書館のスタッフの方々は、そもそもこういった活動に賛同されていないのではないのでしょうか。</p>	2	<p>図書館にて1歳のお子さんと普通の声で会話をしていただけで2度も注意をされてしまう。このような雰囲気図書館では、乳幼児を連れて本を見に行く気持ちがなくなってしまふ。読書活動以前の問題。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
3	<p>多くの小学生にとって本に接する機会が一番多いのは学校図書館だと思います。学校図書館の蔵書の充実、読書環境の整備はもちろんのこと、本と子どもたちの橋渡しをする図書館司書の存在も欠かすことができません。子どもたちが学校にいる間の図書館司書の配置を区内全校にお願いしたいと思います。</p>	3	<p>小学生にとって、本に接する機会が一番多いのは、学校図書館だと思う。学校図書館の蔵書の充実、読書環境の整備、本を子どもたちへ橋渡しする図書館司書が欠かせない。子どもたちが学校にいる間の図書館司書の区内全校の配置を望む。</p>	<p>全校に配置している学校図書館運営支援スタッフと、学校ボランティアや図書委員などが、担当とともに運営の充実にあたっています。さまざまな人材が学校図書館運営に関わることも、地域に開かれた学校として望ましい形でもあります。学校図書館の蔵書状況を把握し、資料の充実に努めるとともに、学校図書館運営支援スタッフ配置の時間の充実等含めより良い学校図書館運営の形を学校と連携して、検討してまいります。</p>
4	<p>特に子どもにおいては図書館から地理的に遠いと読書習慣をつけるのも難しい。武蔵小山駅にマンションもできることだし、小山台地区に取り次ぎサービスで返却された本を箱に詰めるのではなく、移転することにより、児童書だけでも自由返却本を手にとって次になりていけるようにしてほしい。</p>	4	<p>子どもは地理的に遠いと読書習慣をつけるのも難しい。小山台地区に移転することで、児童書だけでも自由返却を手にとって次に借りて行けるようにしてほしい。</p>	<p>現在、図書館の小山台地区への移転の予定はございません。区内には図書館11館と大崎駅西口図書取次施設で図書の閲覧貸出ができます。</p>

通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
5	<p>4歳の娘と1歳の息子と、よく図書館を利用しています。区内にたくさん図書館があり、子供用の読書スペースも各館確保されていて、便利に利用させていただいています。子供達が乳児の頃は、授乳エリアも使わせてもらい、本当に良い親子の憩いの場になっています。娘はちょうど字が読めるようになり始めているので、今後さらに利用を増やしたいと思っていますが、平日になかなか図書館まで足を運ぶことができず、ぱっと本を借りて読むことができないのを、もったいなく思っています。</p> <p>自分の調べ不足かもしれませんが、品川区の図書館では、ネットで本を選び予約することはできるのでしょうか？子供と一緒にスマホやパソコンなどで、タイトルと表紙の絵などを見ながら、カテゴリなどでこんな絵本、どんな中身だろう？今度図書館に行ったときに借りられるように予約しておこう、など、家でやり取りする機会があると、より積極的に図書館に子供を誘いやすくなるなと思いました。</p> <p>共働きで、子供を保育園に預けながら日々過ごしているので、なかなかゆっくり本と向き合う時間が取れないんですが、子供にはたくさんの本に触れて欲しいなと思っています。</p> <p>すでにたくさんの図書館が区内にはありますが、子供だけの足でも行ける距離にさらに増えると嬉しく思います。今後も、品川区図書館のさらなる充実に期待しています。</p>	5	<p>区内にたくさん図書館があり、親子の憩いの場となっている。今後、さらに利用を増やしたい。品川区の図書館では、ネットで本選び予約することはできるのか。</p>	<p>品川区立図書館では、インターネットか図書館内利用者用端末から図書館所蔵の本の予約ができます。本の書誌には内容や、表紙が掲載されているものもあります。</p>
		6	<p>子どもの足でも行ける距離にさらに増えると嬉しく思う。</p>	<p>区内には図書館11館と大崎駅西口図書取次施設で図書の閲覧貸出ができます。今後も資料の充実と居心地の良さの向上に努めてまいります。</p>
6	<p>親が図書館に通っていると、子どもも比較的本を読む習慣がつくように感じます。</p> <p>大人の本と一緒に、子どもの興味が向く本を借りています。図書館から帰ると「何の本、借りてきてくれた？」と聞かれます。小学校低学年まではこのような親の働きかけが有効なので、この時期までに本好きにさせたいところです。</p> <p>そして、学習漫画は興味付けにはとても役に立ちます。予約数が多い学習漫画は、蔵書が増えればいいのにといつも残念に思います。知りたいと思ったときに予約しても、何ヵ月も順番が回ってきません。例：名探偵コナンの社会系漫画</p> <p>学習漫画以外でも子どもに人気のあるキャラクター×教科がミックスしたものは子どもが飛び付きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクラフト×プログラミング</li> <li>・ドラえもん×科学や社会の漫画</li> <li>・有名キャラクター×なぜなに本（「愛蔵版 ジュニア空想科学読本」）</li> </ul> <p>昔から、親や祖父母が買い与えたいジャンルの本です。幼児から読んでいると、小学生になっても読み続けると感じています。</p> <p>子どもの小学校では、学校図書館から月1回おすすめ本の紹介プリントが配布されます。</p> <p>区立図書館はホームページへアクセスすれば新しい本をチェックできますが、年に数回だけでも、小学生向け/中学生向け/高校生向けの本がこんなに入荷してますよ！とジャンルごとに人気のタイトルリストがずら～と印刷されたものが学校で配布されたら、ふだん区立図書館を利用していないけれど、気になる子ども、親がかなり居そうに思います。</p> <p>子どもに読ませたい、図書館に行かせたいという気持ちはありますが、親が代わりに借りてきて、家で読み続けてくれる、という持続的な環境作りも大切。</p> <p>仕事でなかなか図書館に行く機会がない親には、学校から配布のプリント（本のタイトルリスト）は、気づきがあると思います</p>	7	<p>小学校低学年までは親の働きかけが有効なので、この時期までに本好きにさせたい。</p> <p>学習漫画は興味付けに役にたつ。人気のあるキャラクター×教科がミックスしたものは子どもは飛び付く。幼児から読むと小学生になっても続けると感じる。予約が多く順番が回ってこないの、予約数が多い漫画は増えればよいと思う。</p>	<p>漫画も含め、全体の選書基準の中でより興味深い蔵書構成に向けて努力してまいります。</p>
		8	<p>年数回、区立図書館の到着情報が学校から配布されれば、ふだん区立図書館を利用していない子どもや親でも、気づきがあり、資料を借りて家で読むなど、利用する機会になると思う。</p>	<p>各学校図書館で、ブックリスト等の工夫に取り組んでいるところですが、区立図書館も所蔵情報について、学校への情報提供を行ってまいります。</p>

通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
7	<p>子どもたちの読書活動は低下しており、本離れは顕著です。子どもたちの思考力、想像力、学力を向上させるためにも是非、読書活動を推進して頂きたいと思いません。</p> <p>素案を拝読する中で気になった点 家庭での読書活動が低下する中で、学校図書館の役割は大きいとは書かれていますが、学校図書館運営支援スタッフの配置、ボランティアといった外部の方に全て任せていいのでしょうか？ 外部スタッフの方は、同じ方が常時図書館にいてもらえるのでしょうか？ 子ども一人一人、その子のニーズに合った本を提供できたり、興味を引き出すためには専門知識を持った司書さんが必要と考えます。 できれば内部スタッフとして、図書館司書さんが常時図書館にいたることが、子どもたちが安心して図書館を利用できて、本への興味関心も育むものと考えます。</p>	9	<p>家庭での読書活動が低下する中で、学校図書館の役割は大きいとは書かれているが、学校図書館運営支援スタッフの配置、ボランティアといった外部の方に全て任せていいのか？内部スタッフとして図書館司書が常時図書館にいたることが、子どもたちが安心して図書館利用ができ、本への興味関心を育む。</p>	<p>学校図書館は学校内の重要施設として、教職員、学校図書館運営支援スタッフ、学校ボランティア、児童・生徒の協力で運営されています。学校図書館運営支援スタッフも、司書資格を持つスタッフが多く、研修や実務研修で専門知識を積み学校の一員として図書館を支援しています。 今後も、子どもたちの読書を支えるために公共図書館からも支援を充実させてまいります。</p>
	<p>読書に困難のある子どもたちに対して 個々の困難さに合わせた読書手段の紹介、提供することで読書を楽しめるように取り組むとありますが、障害の種類は盲、ろう、知的と多様で、さらに個々に大きく違います。 我が子には重度の知的障害があります。本に対しての興味関心は本当に難しい課題でしたし、最終的に諦めざる負えませんでした。 この素案ではスローガンだけで、具体的な手立ては何もなく効果はないと思います。 せめて毎日同じ人が図書館にいてくれれば、関わりが持てる、本に興味を持つきっかけになるのではと期待するものです。</p>	10	<p>個々の困難さに合わせた読書手段の紹介、提供することで読書を楽しめるように取り組むとあるが、スローガンだけで、具体的な手立ては何もなく効果はないと思う。</p>	<p>近年著作権法が改正され、昨年「読書バリアフリー法」が国会で成立したことで、読むことに困難のある方の様々なニーズに合わせた資料をご提供できる環境が整いつつあります。品川図書館にご相談いただければ、その障害の違いに沿う形で「さわる絵本」「LLブック」「マルチメディアデージー図書」などといった様々な資料をご提供できるよう準備を行います。また、区内公立学校、都立特別支援学校そして区内各種施設などへの情報提供を通じ、品川図書館が読書活動のプラットフォームとして障害の有無に関わらず区民の皆様読書の支援を行ってまいります。</p>

通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
8	<p>施策2についての意見</p> <p>学校図書館の経営や利活用は、担当者の司書教諭のみならず学校司書・他の教職員・ボランティア・図書委員会とも協働していくことが求められています。</p> <p>2003年4月1日から12学級以上規模のすべての学校において司書教諭の設置が義務づけられています。また、2014年度の学校図書館法の改正に伴い、学校司書が法律上明記され、学校司書の配置への努力義務の実施が定められ、司書教諭と学校司書が密接に連絡・調整を行いながら、計画を立て役割分担を実現していくことが必要になっています。実際の司書教諭の設置は11学級以下の規模の学校では義務化されていません。12学級以上の規模の学校でも大半が兼任での設置となっています。また、学校司書の配置率は5割を超えているが、小学校、中学校での常勤者は1割程度。司書教諭も学校司書もない小学校、中学校は2割程度です。</p> <p>学校図書館は、すべての子どもが本に出合うところです。低学年での読書の習慣の習得、語彙の量と質の違いが学力差に大きくかかわるとも指摘されています。一人一人に合った本に出合うとき子どもの読む意欲も力もぐんと伸びます。また学校図書館は読書活動のためだけでなく、各教科の授業での活用が必要とされ、調べ方、学び方を身に付ける場としての働き、教師が授業で使う多様な資料を提供することが期待されています。2020年から実施される指導要領では、自ら課題を見つけ、受け身の授業ではなく討論や発表などを通した主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）を効果的に進める基盤として学校図書館が期待されています。さらに、子供の居場所としての役割も大切にされるようになっていきます。</p> <p>区内の学校図書館には現在、学校図書館運営スタッフ(学校司書)が週2.5日(週15時間)民間企業から派遣で配置されています。品川区では近年児童数が増加し、特に低学年の学級増がみられ、12学級以上の小学校が29校(37校中)となっています。24学級25学級のところもあります。週15時間の勤務では、中休み、昼休みの対応、図書館に来る学級への対応さえ十分出来きれない時間数です。スタッフのいない日には鍵の掛かっている学校すらあります。ぜひ、学校司書が毎日いる図書館にしてください。</p>	11	<p>施策2についての意見</p> <p>区内の学校図書館には現在、学校図書館運営スタッフ(学校司書)が週2.5日(週15時間)民間企業から派遣で配置されている。品川区では近年児童数が増加し、特に低学年の学級増がみられる。、週15時間の勤務では、中休み、昼休みの対応、図書館に来る学級への対応さえ十分出来きれない時間数である。スタッフのいない日には鍵の掛かっている学校すらある。学校司書が毎日いる図書館にしてほしい。</p>	<p>学校図書館運営支援スタッフ、学校ボランティア、図書委員などが、担当とともに運営の充実にあたっています。</p> <p>さまざまな人材が学校図書館運営に関わることも、地域に開かれた学校として望ましい形でもあります。</p> <p>学校図書館運営支援スタッフ配置の時間の充実等含めより良い学校図書館運営の形を学校と連携して、検討してまいります。</p>

通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
9	<p>「子ども読書活動推進計画（素案）」への意見          子どもの読書離れ、読解力の低下が問題視される中で、「品川区子ども読書活動推進計画（素案）」を期待しています。「読書」を広くとらえた本計画の目標、具現化されることを望みます。ただ、これだけの施策を「推進する体制」、どこがどう責任をもって推進するのかが見えてこないのです。</p> <p>1. 第5章として又は、計画推進の体制、という項目を設け役割分担を明確にして欲しいと考えます。          2. 「読むことに困難さのある子ども」を一つの柱として取り組もうとする姿勢は歓迎します。「困難さの現状をつかむ手立て」を知る研修が、学校や図書館職員にまず必要、調査も必要と思います。それは、どこが推進するのでしょうか。          3. 小・中学校、義務教育学校の学校図書館 について          学校図書館の役割の大きさを上げ、中学での利用の少なさを指摘していますが、読書センターとしての機能、情報センターとしての機能を充実させるということだと考えます。小学生段階で①様々な本に出合う機会の提供で、「居場所としての機能についても検討します」「読書興味を高めるような本を子どもに応じて紹介できる人的体制についても検討していきます」とありますが、「学校司書の充実」ではないのでしょうか？これはどこが推進するのでしょうか。小学生段階の③本等や学校図書館を活用した調べ学習の促進、（中学生段階の③も）          ここは、情報センターとしての学校図書館の働きを活発にさせる内容で、今回重要な点だと考えます。この実現のためには、先生たちへの学校図書館（メディアセンター）の活用研修を重点的にすすめ、効果をあげている地域があります。研修体制の強化に触れる必要があるでしょう。「インターネットを含む多様な資料の使い方を知り、図書館を使った調べ学習の方法」を児童生徒が身に付けるには、教員と学校司書（スタッフ）研修が重要です。それを支援する体制、現職又は、司書教諭経験のある教諭と教育委員会指導主事が入った支援体制がどうしても必要と考えます。          出された意見は、生かしてください。そして回答を、公開していただけるようお願いいたします。</p>	12	第5章として又は、計画推進の体制、という項目を設け役割分担を明確にして欲しい。	各部署、各地域、各関係者が、本計画を基に考え推進していく計画提案となっていますが、ご意見を踏まえ「第一章」の中へ示します。
		13	「読むことに困難さのある子ども」を一つの柱として取り組もうとする姿勢は歓迎する。「困難さの現状をつかむ手立て」を知る研修が、学校や図書館職員にまず必要、調査も必要である。それは、どこが推進するか。	品川図書館では約4000タイトルの障害者用資料を用意しているとともに、国内の図書館、電子図書館である「サピエ」と提携しており、様々な資料を提供できる準備を整えております。区内公立学校、都立特別支援学校そして区内各種施設などへの情報提供を通じ、品川図書館が読書活動のプラットフォームとして障害の有無に関わらず区民の皆様の読書の支援を行ってまいります。 「読むことに困難さのある子ども」を含め、特別支援に関する研修は、教諭の様々な職層研修において実施しているところです。調査については行っておりませんが、各研修の中で、担任等が児童・生徒の実態把握や支援についての具体的な方法等を理解できるように進めています。
		14	小・中学校、義務教育学校の学校図書館 について 情報センターとしての学校図書館の働きを活発にさせる内容で、今回重要な点だと考える。実現のためには、先生たちへの学校図書館（メディアセンター）の活用研修を重点的にすすめ、効果をあげている地域があり、研修体制の強化に触れる必要がある。「インターネットを含む多様な資料の使い方を知り、図書館を使った調べ学習の方法」を児童生徒が身に付けるには、教員と学校司書（スタッフ）研修が重要である。それを支援する体制、現職又は、司書教諭経験のある教諭と教育委員会指導主事が入った支援体制がどうしても必要と考える。	「図書担当教諭研修会」を毎年行っています。その研修の中で、推進計画の趣旨説明など教員向けの研修を行ってまいります。

通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
10	<p>以前、テレビ番組で「図書通帳」のような物を見ました。 品川区でも是非取り入れていただきたいです。 借りた本の履歴が記入される事で、子供たちがたくさん本を借りるようになったと言う取材がされていました。 当時3歳の娘がとても興味を示していたため、我が家では市販の「読書ノート」を利用して、これまでに読んだ本を記録していました。 はじめは本人が気に入った絵本の場面を描いたり、文字が読めるようになってからは簡単な感想なども聞いて書き留めていました。 5歳になった娘は、記録を始めてから、これまでに250冊ほどの本を読み、「これだけ読んだ」と言う自信がついたようです。 物事や言葉を覚えるのも楽しいようです。 始めに凝ったことをしていたので、今は記録がとても大変ですが、図書通帳があると、本を読まない子供でも読むことのモチベーションが上がって、喜んで図書館に行くのではと思います。 我が子にも、もっともっと本を読んでもらいたいです。 品川区の熱心な教育への取り組みに感謝しています。</p>	15	<p>図書通帳があると、本を読まない子供でも読むことのモチベーションが上がって、喜んで図書館に行くのではと思うので、「図書通帳」を品川区でも是非取り入れてほしい。</p>	<p>読書通帳の導入に向けては、記帳方法を検討する必要がありますが、今後他自治体図書館から情報を収集するなどして検討してまいります。</p>
11	<p>英語多読コーナー設置について 息子が5歳の時、世界一大きな恐竜は何か知りたがりでしたが、日本語の本や記事では情報が古く、インターネットで英語の記事を読む必要がありました。理系大学に進学すれば学生は英語で情報収集することは当然必要となりますが、これからの時代、小、中学生、高校生でもインターネットで最先端の情報を英語で収集する能力はますます必要となるでしょう。 そこで、幼少期から日本語だけでなく英語の絵本に親しむことが大変重要になってきます。近年、英語学習法として「多読」という考え方があります。英語の文字数の少ない絵本から読書を開始し、たくさん本を読む中で、長い文章も読めるようになっていく方法です。実際、港区のみなど図書館では「英語多読コーナー」があり、たくさんの英語の絵本がレベル別に分類されており、大変素晴らしいです。私どもは昨年9月からみなと図書館を利用しており、すでに100冊以上の英語の絵本を借りております。現在私の子供たちは3歳と6歳ですが、 長い文章を読むことにはかなり慣れてきて、成果を実感しております。個人が英語の本を購入し多読するのは経済的に大変難しいことで、図書館が担う役割は非常に大きいと思います。是非、品川図書館でも英語多読コーナーを設置し、これからの時代を担う子供たちの英語力、自由な情報収集能力を養っていただきたいと思っております。</p>	16	<p>品川図書館でも英語多読コーナーを設置し、これからの時代を担う子供たちの英語力、自由な情報収集能力を養ってほしい。</p>	<p>品川図書館では、令和元年10月より、「ユニバーサル資料コーナー」を設置いたしました。そちらに現在英語と日本語の多読資料をご用意しており、今後も資料の充実を図ってまいります。 また、児童コーナーでは洋書の絵本を所蔵しております。</p>

通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
12	<p>区立図書館のおはなし会や学校図書館には、我が子が大変お世話になりありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>P7 乳幼児啓発事業 【提案】平成28年より図書館での引き換えになっていますが、引き換えに行かない人もいますので健診時に絵本を渡す方法に戻してください。</p> <p>P24 第4章計画推進のための施策 施策1(未就学児) ■取り組み①子どもにとって身近な読書環境の充実 子ども一人ひとりの読書興味に応じて「適書」を案内できる人材を育成し人的体制も含めた環境形成に取り組めます。</p> <p>②家庭での読書活動の推進 読書活動の相談に応じる体制についても検討します。 家庭での読書活動を代替えるための地域の体制を整えることも同時に取り組めます。 【意見】品川区が取り組んでくださるんですね。期待しております。</p> <p>P25 自然や社会等への関心を高める図鑑等の活用 【意見】「日々の読み聞かせの中で～」とありますが、具体的には誰がやるのでしょうか？ 現実的には、保育士や幼稚園教諭ではないかと思いますが、そこを明記してください。</p> <p>P26 施策2(小学生段階) ■取り組み①様々な本に出合う機会の提供 読書興味を高めるような本を、子どもに応じて紹介できる人的体制についても検討していきます。 【意見】現在、品川区立学校には外部委託による学校図書館運営支援スタッフが配属されていますが、週に2.5日しか配置されていません。学校の授業がある日には必ずいてほしいです。 また、外部委託ではなく直接雇用の学校司書に学校の先生が直接依頼できる体制を整えてほしいです。</p> <p>以下、打ち間違いと思える記述 P20 未就学児 本文2行目 「絵本”を”読み聞かせをしてもらう中で～」 小学生段階 本文4行目 「読む”ように”なかで」 P21 大学生世代 本文5行目 「担い手”と”増やすことを」 P26 注釈21 「家庭でも”場所”でもない」 以上、よろしく願いいたします。</p>	17	<p>P7 乳幼児啓発事業 【提案】平成28年より図書館での引き換えになっているが、引き換えに行かない人もいますので健診時に絵本を渡す方法に戻してほしい。</p>	<p>平成28年より、事業が図書館主体になっていますが、図書館に一度来てほしいという観点から、図書館での引き換えという形をとっているところです。</p>
		18	<p>P25 自然や社会等への関心を高める図鑑等の活用 【意見】「日々の読み聞かせの中で～」とありますが、具体的には誰がやるのでしょうか？ 現実的には、保育士や幼稚園教諭ではないかと思うが、そこを明記してほしい。</p>	<p>日々読み聞かせは、保育士、幼稚園教諭はもとより、まわりの身近な大人が読み聞かせを行うことも計画の中では想定しております。 また、図書館においては、それらの資料の充実に努めてまいります。</p>
		19	<p>P26 施策2(小学生段階) ■取り組み①様々な本に出合う機会の提供 読書興味を高めるような本を、子どもに応じて紹介できる人的体制についても検討していきます。 【意見】現在、品川区立学校には外部委託による学校図書館運営支援スタッフが配属されているが、週に2.5日しか配置されていない。学校の授業がある日には必ずいてほしい。 また、外部委託ではなく直接雇用の学校司書に学校の先生が直接依頼できる体制を整えてほしい。</p>	<p>各学校では、学校と学校図書館運営支援スタッフが毎月作業計画会議を開き図書館運営について、協議しています。また、日々の学校と学校図書館運営支援スタッフの調整を行えるよう連絡体制を整えています。</p>
		20	<p>打ち間違いと思える記述 P20 未就学児 本文2行目 「絵本”を”読み聞かせをしてもらう中で～」 小学生段階 本文4行目 「読む”ように”なかで」 P21 大学生世代 本文5行目 「担い手”と”増やすことを」 P26 注釈21 「家庭でも”場所”でもない」</p>	<p>修正いたします。</p>

通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
13	<p>品川区立図書館児童サービスボランティア、学校図書館ボランティア、すまいるスクールでおはなし会を、文字好きの子ども(文章を読むことが苦ではない子)を育てることを意識して活動しています。</p> <p>この度、新たな品川区子ども読書活動推進計画の策定に伴い、素案を拝読しました。</p> <p>全体を通して「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」の実現をめざし、未来を担う子どもたちの自主的な読書活動の推進に取り組む、素案はとても良くできていると思いました。</p> <p>ただ、この中で2, 3気になったことがありましたので意見を申し上げます。</p> <p>★P7ブックファースト：「4か月児健康診査の際に受診者に引換券を配布し、区立図書館でオリジナル手提げ袋に入った絵本と啓発リーフレットに引き換えています。」が、引き替え時に、ただ渡すだけではなく、できればその場で、引き替えの本で読み聞かせをしてあげて、子どもとのコミュニケーションの取り方や、図書館利用の仕方など、来館のチャンスを生かしてして保護者の意識啓発をしてください。未就学児の読書は保護者の役割がとても大切です。また、これはP20に入りませんか。</p> <p>★小・中学生では、子どもにとって学校図書館が重要な読書環境であることが分かります。</p> <p>P26①様々な本に出会う機会の提供 読書興味を高めるような本を、子どもに応じて紹介できる人的体制についても検討していきます。</p> <p>学校図書館の環境はずいぶん整ってきていると思いますが、そこに居る本を手渡しする人の育成はどのように行いますか。</p> <p>また、これらを行うには現状の週に2.5日・外部事業者に委託している学校図書館運営支援スタッフでは無理ではないですか？子どもの情報が分かる直接雇用の司書が毎日居る環境が必要であると思います。</p> <p>毎日司書がいる学校図書館であれば、不登校の子どもの居場所や、視覚障害のある子どもの対応にも携われるのではないのでしょうか</p> <p>★素案で、一番気になったところは、誰がどこでどのようにこの活動を推進していくのかが明記されていないことです。もっと具体的に示していただけるとありがたいです。</p> <p>この意見に対する回答を公開してください。以上よろしく申し上げます。</p>	21	<p>P7ブックファースト:「4か月児健康診査の際に受診者に引換券を配布し、区立図書館でオリジナル手提げ袋に入った絵本と啓発リーフレットに引き換えています。」が、引き替え時に、ただ渡すだけではなく、できればその場で、引き替えの本で読み聞かせをして、子どもとのコミュニケーションの取り方や、図書館利用の仕方など、来館のチャンスを生かしてして保護者の意識啓発をしてください。未就学児の読書は保護者の役割がとても大切です。また、これは素案のP20に入らないか。</p>	<p>現在、未就学児の保護者向けの絵本の講座を、児童センターと共催で行っております。また、よんでよんで事業として保護者向けの講座を行い、充実を図っていきます。</p>
		22	<p>小・中学生では、子どもにとって学校図書館が重要な読書環境であることが分かる。</p> <p>P26①様々な本に出会う機会の提供 読書興味を高めるような本を、子どもに応じて紹介できる人的体制についても検討していきます。</p> <p>学校図書館の環境はずいぶん整ってきていると思うが、そこに居る本を手渡しする人の育成はどのように行うのか。</p> <p>また、これらを行うには現状の週に2.5日・外部事業者に委託している学校図書館運営支援スタッフでは無理ではないか？子どもの情報が分かる直接雇用の司書が毎日居る環境が必要であると思う。</p>	<p>学校図書館運営支援スタッフ、学校ボランティア、図書委員などが、担当とともに運営の充実にあたっています。さまざまな人材が学校図書館運営に関わることも、地域に開かれた学校として望ましい形でもあります。</p> <p>学校図書館運営支援スタッフ配置の時間の充実等含めより良い学校図書館運営の形を学校と連携して、検討してまいります。</p>
		23	<p>毎日司書がいる学校図書館であれば、不登校の子どもの居場所や、視覚障害のある子どもの対応にも携われるのではないか。</p>	<p>視覚障害などのある児童については、区内公立学校、都立特別支援学校そして区内各種施設などへの情報提供を通じ、品川図書館が読書活動のプラットフォームとして障害の有無に関わらず区民の皆様の読書の支援を行っていきます。</p> <p>また、学校図書館は学習の場として運用しています。居場所としての可能性については、今後の研究課題と考えています。</p>
		24	<p>素案で、一番気になったところは、誰がどこでどのようにこの活動を推進していくのかが明記されていないことです。もっと具体的に示していただけるとありがたい。</p>	<p>各部署、各地域、各関係者が、本計画を基に考え推進していく計画提案となっておりますが、ご意見を踏まえ「第一章」の中へ示します。</p>



通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
14	<p>息子たちが通った品川区立の小学校・中学校では私たちの時代と異なり、図書館が毎日開いているわけではない、ということが分かり大変がっかり致しました。育ち盛りの子供たちに読書を推進するならば、まず子供たちにとって一番身近な学校の図書館を毎日開けて頂きたいと思えます。司書さんが当たり前のように居て下さる図書室は大変貴重な場所です。図書室に通ううちに本の素晴らしい世界に引きずり込まれる可能性もあります。無理やり大人が「本を読みましよう」と働きかけても子供は本を手にとるわけではありません。出入り自由な図書室に、そして司書さんが居てくれる図書室に、好きな時に通うことで自然に本を手にとることが読書を推進する上で大切なことではないでしょうか。最近学校では「ビブリオバトル」を推進していますが、子供たちには殆ど効果がないように思います。一部の本好きな子にとっては「ビブリオバトル」も価値があるのかもしれませんが、殆どの子はネタをネットで探してその場しのぎの発表をしているというのが実態のようです。もし、本当にもう一度子供たちが本を手にとる世の中にしたいのであれば、まず私たち大人が変わらなければなりません。予算の関係で学校の図書室を毎日開けることが出来ない聞いていますが、本当にそうなのでしょう。子供の健全な育成に役立つ教育（読書）にはもっと予算を割いてもいいのではないのでしょうか。スマホばかりをいじる大人の姿を見て育つ子は、周囲がどんなに読書を強制しても本を手にとる子には育ちません。大人が読書をしている姿を子供に見せることをまず推奨し、子供のスマホの時間を縮小させ、子供たちが学校の図書室で自由に本を借りることが出来る環境を整える。そういう方向での読書活動推進を切に願いたいと思えます。余談になりますが、</p> <p>図書室が開いていることは読書だけの効果をもたらすものではないと思えます。不登校児の寛ぎの場にもなり得ます。実際、不登校の子は教室に入ることが出来ないため保健室登校を試みますが、保健室にも入ることが出来ない場合、図書室も居場所の一つになるはずなのに、図書室が開いていないのであれば結局行き場を失ってしまいます。そういう観点からも是非学校の図書室をまず毎日開けて頂きたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。</p>	25	<p>図書室が開いていることは読書だけの効果をもたらすものではないと思う。不登校児の寛ぎの場にもなり得る。実際、不登校の子は教室に入ることが出来ないため保健室登校を試みるが、保健室にも入ることが出来ない場合、図書室も居場所の一つになるはずなのに、図書室が開いていないのであれば結局行き場を失ってしまう。そういう観点からも是非学校の図書室をまず毎日開けてほしい。</p>	<p>学校図書館運営支援スタッフ、学校ボランティア、図書委員などが、担当とともに運営の充実にあたっています。さまざまな人材が学校図書館運営に関わることも、地域に開かれた学校として望ましい形でもあります。学校図書館運営支援スタッフ配置の時間の充実等含めより良い学校図書館運営の形を学校と連携して、検討してまいります。また、学校図書館は学習の場として運用しています。居場所としての可能性については、今後の研究課題と考えています。</p>
15	<p>全体を通して、幅広く目配りされたバランスのよい内容であると思えました。そのうえで、気になった点を3つほど申し上げたいと思えます。</p> <p>1. 本とインターネットをやや対立項のようにとらえていること 調査内容では、本をよく読む子どもがインターネットでの調査にもすぐれている傾向があるという相関関係などについても触れられていますが、テキストの質の問題と、デバイスあるいはインターフェイスの問題は、それぞれの組み合わせがありうるのではないかと思います。ただし、一般に「インターネットが読書の敵」であるかのように理解されがちな点からみれば、このぐらいのアプローチがわかりやすいのかもしれない。</p> <p>2. 「本に書かれていること」が知識資源であるかのように見えること こちらがより本質的な問題ですが、本へのアクセスにおける調べ学習ないし事典・辞典類への言及が、「書かれていること＝知識」のように解釈されていることに疑問をもちました。 読書とは、究極には想像力であると考えます。すなわち、著者がどのような背景をもってそのことを記述しているのか、を想像する力です。文学作品であればよりわかりやすいのですが、唯一無二の定義であるようにみえる事典の記述であっても、その執筆過程においては単行本の一章分を書くのに等しいぐらいに多くの著作や論文、記事などを読んで検討を重ねたうえで書かれています。 大学生を指導する立場にあるのですが、本であってもインターネットの情報であっても、「もっともらしい本に書かれているから」という理由で安易に引用したり、「誰が」「いつ」書いたのかにほとんど頓着しない学生が多いことが気になります。この基本計画で対象にしている子どもたちには、そこまでの言及は必要ないのかもしれませんが、知識はどこから降ってくるのではなくて、人々の思考と経験の積み重ねであることを、意識できるような体験が必要ではないかと思えます。いささか抽象的な物言いですが、オーサービジットのような試みもありえましょう。</p> <p>3. 読み聞かせと読書の関係について 幼いころに読み聞かせをしている家庭では、読書率が高いという分析がありました。それ自体に異議はありませんが、バリアフリーに触れるのであれば、親が聾者であるような家庭への配慮もどこかで必要かと思えます。</p>	26	<p>本とインターネットをやや対立項のようにとらえていること 調査内容では、本をよく読む子どもがインターネットでの調査にもすぐれている傾向があるという相関関係などについても触れられているが、テキストの質の問題と、デバイスあるいはインターフェイスの問題は、それぞれの組み合わせがありうるのではないかと思う。ただし、一般に「インターネットが読書の敵」であるかのように理解されがちな点からみれば、このぐらいのアプローチがわかりやすいのかもしれない。</p>	<p>本を読み、事典等を調べる過程で、子どもたちが考え、自ら知識を構築していくことは、読書能力の観点では望まれることと認識しています。中学生世代以上の子どもに対しては調べ学習や探求学習を通じて学ぶことのできるよう取り組みたいと考えています。</p>
		27	<p>「本に書かれていること」が知識資源であるかのように見えること 執筆過程はそれぞれの記述で異なり、多様な記述と思考経験の積み重ねによることで、実感ができるような体験が必要ではないか。本へのアクセスにおける調べ学習ないし事典・辞典類への言及が、「書かれていること＝知識」のように解釈されていることに疑問をもちました。</p>	<p>取組のなかで、考え方を取り入れていながら、継続して研究課題としていきます。</p>
		28	<p>読み聞かせと読書の関係について 幼いころに読み聞かせをしている家庭では、読書率が高いという分析があった。それ自体に異議はありませんが、バリアフリーに触れるのであれば、親が聾者であるような家庭への配慮もどこかで必要かと思う。</p>	<p>視覚障害などのある方に対しては、今後品川図書館で行っている障害者サービスを広く周知するとともに、読むことに困難のある方へは、品川区立図書館にて個別にご相談いただくことで、その方の状況や希望にあった読み聞かせに役立つ情報を提供いたします。</p>

通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
16	<p>児童センターでの乳幼児をおもちの親向けに絵本講座を行っております。「幼児期に出会う絵本は、その子の心の核となり、思考の基本になる」ということをテーマに発達に応じた絵本選び、良い絵本選びについてお話をしています。多くの（主に母）親から聞くのは、どの絵本を読んだらいいかわからない、絵本の使い方がわからない、子どもにとっての絵本の効用がわからないなどです。未就学児にとって絵本は読書の入り口です。</p> <p>施策1の取り組み①について。児童センターでの本の充実（絵本の量のみならず質）や本を案内できる人材をどのようにしておこなうのでしょうか？区内図書館でのリーフレットだけでは不十分です。また、別件ですが乳児4ヶ月健診でのファーストブックが引換券になり、手渡されるだけの絵本になってしまい、検診時に実際に読み聞かせを体験することで赤ちゃんの反応や読み方などを知ることができ、大変重要だと思います。</p> <p>②「家読」の取り組みについてですが、どのような周知・体制をとるのでしょうか？また、家庭が十分に取組めない場合の地域の体制とはどのようなものなのでしょうか？</p> <p>児童センターでの活動の他に学校図書ボランティアを行っていますので、先に施策2について意見を提出しましたが、学校図書館の充実・乳幼児期から読書環境を充実させることは大人の責任です。（特に親、教育現場、図書館などに関わる大人）</p> <p>以上、ご検討と回答をよろしくお願いいたします。</p>	29	<p>施策1の取り組み①について。児童センターでの本の充実（絵本の量のみならず質）や本を案内できる人材をどのようにしておこなうのか？区内図書館でのリーフレットだけでは不十分です。</p>	<p>図書館より、ブックリストの案内、職員等の読書相談や団体貸出の利用などで、支援をしていきます。また、児童センターとの共催事業など、利用者の方への読書活動の推進を図っていきます。</p>
17	<p>素案は子どもの読書の実態、現状と取組むべき課題を示したものとして評価します。しかし、それを進展させる体制について触れていません。本区の区立図書館、学校図書館は民間委託を基本とした管理運営がなされています。読書推進体制は非常に脆弱です。</p> <p>区立図書館は指定管理者制度を導入しています。指定管理者の創意性などを評価して管理運営を委ねたものですが、委ねた行政当局は指示等は原則としてできず、管理期間も限定されております。本区図書館の指定管理者には、学校図書館の運営についても業務を委託しています。要するに、適切な読書推進計画を策定しても、その実現、推進を具体的に行政が担うことはできません。個々の子どもたちの日々の読書活動を具体的にリアルに捉えることは行政当局としてはできないのです。</p> <p>さらに、当局が計画に基づいて改善策等を具体的に指示することはできません。「偽装請負」になりかねません。実際全国各地で問題になっていることです。</p> <p>「計画推進のための施策」には、「子どもが日々を過ごす幼稚園・保育園、また児童センター等において、未就学児向けの本を充実させ、子どもにとって身近な読書環境の充実を図ります。」「家読」の取り組みについても周知を図ります。また、保護者向けの情報発信とともに、読書活動の相談に応じる体制についても検討します。」などの点も挙げております。極めて重要なことですが、幼稚園・保育園・児童センターなどの職員、さらに家庭の保護者に対して、図書館の管理運営の受託企業の従業員が指導的な助言等は許されるべきことではなく、誤解を招きかねません。</p> <p>本区は1980年代頃までは、子どもへの図書館サービスについては先駆的な役割をしていました。都内の図書館だけでなく、全国的にも評価されていました。さらに子どもたちの読書を支援する活動をしている地域の団体も著名で、図書館との連携協力も進展していました。それに応えることのできる図書館体制であったのです。</p> <p>司書有資格の図書館員も多く、長きにわたる経験を重ね、所蔵資料＝コレクションの形成、読書の動機付けに繋がることなどの豊かな図書館サービスの進展を図り、専門性の蓄積をしてきました。</p> <p>しかし現在司書有資格の職員、図書館経験豊かな職員は極めて少ない実状にあり、本計画推進を具体的に担うことはできません。何よりも、図書館の理念の沿った職員体制確立を計画の中で挙げるべきだと思います。</p>	30	<p>施策1の取り組み①乳児4ヶ月健診でのファーストブックが引換券になり、手渡されるだけの絵本になってしまい、検診時に実際に読み聞かせを体験することで赤ちゃんの反応や読み方などを知ることができ、大変重要だと思ふ。</p>	<p>現在、未就学児の保護者向けの絵本の講座を、児童センターと共催で行っております。また、よんでよんで事業として保護者向けの講座を行い、充実を図っていきます。</p>
		31	<p>②「家読」の取り組みについてですが、どのような周知・体制をとるのか？また、家庭が十分に取組めない場合の地域の体制とはどのようなものなのか？</p>	<p>「家読」については、まず、家庭に向けて、家読への周知・PRに努めてまいります。その上で、家庭・各部署・地域・ボランティア・NPO・民間専門事業者と協働し、推進してまいります。</p>
		32	<p>本区の区立図書館、学校図書館は民間委託を基本とした管理運営がなされている。読書推進体制は非常に脆弱です。本区図書館の指定管理者には、学校図書館の運営についても業務を委託している。要するに、適切な読書推進計画を策定しても、その実現、推進を具体的に行政が担うことはできません。現在司書有資格の職員、図書館経験豊かな職員は極めて少ない実状にあり、本計画推進を具体的に担うことはできません。何よりも、図書館の理念の沿った職員体制確立を計画の中で挙げるべきだと思ふ。</p>	<p>本区の図書館運営には、区職員が中心となって、指定管理・窓口委託を取り入れて図書館業務専門知識を活用しつつ、官民の協力体制を築いて行っています。計画の推進においては、区の職員である図書館職員が、各関係機関部署と連携し、民間事業者とも協力し合いながら進めてまいります。家庭への啓発においても同様に、職員が中心で推進していくこととなります。職員の能力育成についても、区役所各所管同様、各種研修やOJTを複層的に行う中で人材育成に努めてまいります。</p>

通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
18	<p>この計画の目的として「本などを活用して自ら主体的に思考し、行動する人に育つ」とあり、目標も「本を読むことに前向きな姿勢と多様な情報環境を活用するスキルを育む」とあり、その上「これこそが人生を豊かに生きる力です」とあります。</p> <p>確かに生きていく上での必要な知識・情報を本から得ることはできるでしょう。しかし、生きていくうえで人間は頭の中の知識だけで幸せに生き、「生きる力」を得られるとは思えません。知識だけがあれば社会に上手く関わっていける力を養える（高校、大学世代の施策）のでしょうか。</p> <p>本は「知る」ためのスキル、それだけの役目ではない事に気が付くべきです。</p> <p>本、読書、と漠然とした言い方ではなく、本には「知識」を得るノンフィクションと、「児童文学」というフィクションがあります。それを分けて考えるべきだと思います。</p> <p>この計画書では情報を得るための本に重きを置き、文学には触れていません。「文学」として本をとらえることを忘れていてのではないのでしょうか。子どもが初めて出会う文学は絵本なのです。絵本は文学の入り口なのです。</p> <p>では「文学」とはなんのでしょうか。それは自分ではないもう一人の生きている人に出会うことです。</p> <p>残念なことに、多くの絵本が「字、数、物の名」「いい子でいましょう、いじめは悪い」等と何かを教えよう、知識をつけようとしています。また「子どもが好きそうだから」「子どもだからこんなもので」というように子どもに迎合したり、子どもに媚びてキャラクターや薄っぺらな絵、低次元のくすぐりになっています。この様に他の目的で作られた絵本は美しくありません。</p> <p>子どもが「文学」としての絵本と出会うのは人生と美しさに触れる時間なのです。美しく、力強く、楽しい質の高い絵本を子ども達に渡していかなければいけないのです。</p> <p>文学としての絵本に出会えた時、絵本の中の登場人物と自分を同一視し、また絵本から肯定的に“やってみれば大丈夫”“大丈夫”というメッセージが伝わってくるのです。人生を肯定できて自立していく、つまりこここそ「生きる力」が子ども達に与えられるのです。</p> <p>この「生きる力」は情報を活用でき、知識が増えたからと言って決して得られるものではありません。</p> <p>その様な質の高い絵本と出会えた子ども達は美味しい料理をあさるように本を選んでいきます。</p> <p>それには図書館、学校、家庭等、子どもの手に届く所に子どもの期待を満たすほどの充実した本（質の高い本）をできるだけ数多くあることが必要です。</p> <p>そのためには、親、司書、先生等がもっと本を楽しみ、本を見る眼を養い、質の高い本を選ぶことができるようになることが必要となります。</p> <p>どんな本でも大人が介在し子どもに渡していきます。大人に見る眼がなく自信がないと「うける本」を選んでしまいます。</p> <p>そうならない為には何世代にも読み継がれてきた既に評価が定まった本を読むしかないのです。</p> <p>今、品川図書館が絵本の紹介として発信している「ねえこの本よんで！」は本当に質の高い本が紹介されているのでしょうか？テーマ毎に質の高い本が毎回あるとは思えません。テーマに沿うように無理やり本を選ぶより、世界的に認められている優れた作家（センダック、アーディゾーニ、バージニア・リー・バートン、マックロスキー、マーシャブラウン、トミー・デ・パオラ、ロジャー・デュボアサン等々）の作品を紹介すべきです。</p> <p>図書館のお話会も、その開催回数と参加人数で測られています。読み手であるボランティア、図書館員が質の高い本を読んだかどうかは問題になりません。幼児期の読書への動機づけの為には、お話会をお楽しみ会するのではなく、質の高い本を親にも子にも手渡していく機会としなければならないのです。</p> <p>読み手がどんな本を選べば良いか知るためには、真剣に子どもと向かい合い、地黄文学としての本を心から楽しんでる人から教わることです。その方々は作家や講師ばかりではありません。</p> <p>「文学」は一つの流れです。子どもは絵本から始まり、わらべうた、詩、民話、神話、ファンタジーと読み続けます。心の内面を扱うファンタジーの世界と現実を行ったり来たりできる子どもになれるかどうかは、入口でどれだけ質の良い絵本と出会い、その後どの様な本を読んできたかにかかります。</p> <p>もちろん、良い本だけしか読んではいけなくはないと言っているわけではありません。色々な本を読んでもその違いがわかればまた、心から楽しめる良い本に戻ってきます。ジャンクフードばかり食べていると、本当の食事が恋しくなるのと同じです。</p> <p>その良い本、美味しい食事を提供するのが大人の仕事ではないのでしょうか。</p> <p>一冊でも良い、その子の「生きる力」となる本を手渡してあげたいのです。本を読まない理由が本当に心から楽しめる質の高い本を知らなかったから、とならない為にも。</p> <p>どうぞ、環境の変化に対応する情報や知識を得るための本だけでなく、不変に「生きる力」を与える質の高い「文学」と、子ども達を出会わせてください。そしてそのための計画を忘れないでください。</p>	33	<p>一冊でも良い、その子の「生きる力」となる本を手渡してあげたい。本を読まない理由が本当に心から楽しめる質の高い本を知らなかったからとならないようにしたい。</p> <p>環境の変化に対応する情報や知識を得るための本だけでなく、不変に「生きる力」を与える質の高い「文学」と、子ども達を出会わせてほしい。そのための計画を忘れないでください。</p>	<p>今回の計画では、知識だけでなく、文学も核として読書興味を養い、読書能力をつけることで、人生を豊かに生きる力を自分自身で身につけるための読書を推奨しています。ティーンズサービスの推進にあたりましては、情報選択の大切さなどに重点を置いています。絵本や文学の読書活動についても、前計画を引き継ぎながら、推進に努めてまいります。</p> <p>また、ご指摘いただいたブックリスト他の推奨本についてもより充実させていくよう努力してまいります。</p>

通知 No.	寄せられたご意見	意見 No.	寄せられたご意見の要約	意見への対応
19	<p>品川区立学校図書館を学校司書が毎日いる図書館にしてください。 どの学校も、授業以外でも開放し（施錠せず）、生徒たちがいつでも本が読める環境にしてください。</p> <p>品川区子ども読書活動推進計画を拝見しました。 第2章第一 品川区の取り組み 2 学校等での取り組み 学校図書館の利用状況で、授業や読み聞かせ、ブックトークに学校図書館を利用する回数があまりに少ないこと（1クラス当たり1学期にたったの1回）に、大変驚きました。各学校で、それなりの蔵書数を揃えているにも関わらず、勿体無い話だと思います。 第4章施策2 本に親しみ、知るための基礎を形成する ■取り組み ①様々な本に出会う機会の提供 子どもたちにとっての第三の場所となるような居場所としての機能に、期待します。検討ではなく早速取り組みを始めて欲しいです。なぜなら、我が子が今現在、不登校中だからです。心理的葛藤から教室に入ることが出来ません。保健室も病気ではないため居づらいと言います。校内で唯一心地いい場所が学校図書館なのです。けれども、普段は施錠されていて（学校によって異なるらしいですが）、自由に利用できません。あらゆる子どもが読書環境にアクセスできることが、登校しやすい環境をつくることに繋がる、と信じています。</p>	34	<p>どの学校も、授業以外でも開放し（施錠せず）、生徒たちがいつでも本が読める環境にしてください。第4章施策2 本に親しみ、知るための基礎を形成する ■取り組み ①様々な本に出会う機会の提供 子どもたちにとっての第三の場所となるような居場所としての機能に、期待します。あらゆる子どもが読書環境にアクセスできることが、登校しやすい環境をつくることに繋がる、と信じている。</p>	<p>学校図書館運営支援スタッフ、学校ボランティア、図書委員などが、担当とともに運営の充実にあたっています。 さまざまな人材が学校図書館運営に関わることも、地域に開かれた学校として望ましい形でもあります。学校図書館運営支援スタッフ配置の時間の充実等含めより良い学校図書館運営の形を学校と連携して、検討してまいります。 また、学校図書館は学習の場として運用しています。居場所としての可能性については、今後の研究課題と考えています。</p>
20	<p>品川区立の学校図書館に週5日図書館司書を配置することを盛り込んでください。</p>	35	<p>品川区立の学校図書館に週5日図書館司書を配置することを盛り込んでください。</p>	<p>学校図書館運営支援スタッフ、学校ボランティア、図書委員などが、担当とともに運営の充実にあたっています。 さまざまな人材が学校図書館運営に関わることも、地域に開かれた学校として望ましい形でもあります。学校図書館運営支援スタッフ配置の時間の充実等含めより良い学校図書館運営の形を学校と連携して、検討してまいります。</p>